秩父夜祭 令和8年12月 2日(水) 曳行・行事案内 交通案内図



上町屋台
高さ約6.7m 重さ約13t



屋根は4基の屋台の中で最も大きい。軒の出も多く華麗な屋台である。牡丹に唐獅子の水引幕、鯉の滝昇りの後幕の刺繍も見事。

中町屋台
高さ約6.7m 重さ約14t



屋台の前後を飾る鬼板は、4基の屋台の中で最も大きい。その彫刻は、天の岩戸開きやスサノヲノミコトの大蛇退治など日本神話を題材にしている。

中近笠鉾
高さ約5.5m 重さ約15t※



総体黒漆で、随所に金具を打ち、鬼板、懸魚(げぎょ)、妻飾りなど極彩色の彫刻を飾った宮殿風な構え。勾欄(こうらん)の丸彫金箔押の龍や内室の二十四孝の彫刻は見どころ。
※笠装着時の重さです。

本町屋台
高さ約6.5m 重さ約12t



彫刻や装飾など金箔押しの上に彩色をする贅を尽くした造りとなっている。後幕は玩具を積んだ宝船の刺繍が施され、中央のダルマが特徴的である。

下郷笠鉾
高さ約7m 重さ約20t※



6基の笠鉾・屋台の中で最も大きく、重量もある。白木で仕上げられた本体に金の飾り金具が神々しさをかもす。通常は中近笠鉾と共に笠をはずして曳き廻される。
※笠装着時の重さです。

宮地屋台
高さ約6.5m 重さ約12t



秩父祭屋台のうち最も古く、端正な姿をとどめている。後幕は、想像上の霊獣・猩猩(しょうじょう)。水引幕は飛鶴の刺繍である。

秩父夜祭 みどころ

屋台芝居(やたいしばい)



2日、宮地収蔵庫前にて12時〜14時。3日、秩父神社にて12時30分〜14時30分に開催予定。屋台の両脇に張出舞台をつけて演じられる「屋台芝居」。宮地・本町・上町・中町の各屋台により4年に1度ずつの回り番となっており、今年は宮地屋台での上演です。



ギリ廻し(まわし)



屋台や笠鉾の方向転換は「ギリ廻し」と呼ばれ、テコの応用で山車を浮かし、軸を中心に回転する方法などをとります。重さ数十トンの屋台・笠鉾が大きく傾き、「玉入れ」という小太鼓の曲目が演奏されます。

屋台曳き踊り(やたいひきおどり)

屋台町である宮地・上町・中町・本町の各町内ごとに街の辻や他町会所前、秩父神社の神門前などに屋台を止めて、長唄の曲を演奏する地方と踊り手である立方により「曳き踊り」という所作事を奉納します。

秩父夜祭絹市 開催



かつて秩父夜祭は、絹市(絹の取引き)が開かれ発展しました。その絹市を復活し、織物、工芸品、地場産品などの販売を行います。

日時 12月2日(水) 11:00〜19:00 3日(木) 11:00〜20:00
場所 黒門通り、買継商通り(秩父神社より徒歩1分)
内容 絹関連商品の展示・販売 他

秩父まつり会館 TEL 0494-23-1110



開館時間
12月2日・9:00〜20:00
12月3日・9:00〜21:00

入館料	一般	小中学生
個人	500円	250円
団体	450円	200円

(団体は25名様以上)

※入館受付は閉館時間の30分前まで
※通常時の開館時間は、9:00〜17:00(12月4日〜3月は10:00開館)

曳行・行事案内 交通案内図

日本三大曳山祭
国指定重要有形・無形民俗文化財
ユネスコ無形文化遺産登録

秩父夜祭

Chichibu Yomatsuri, Night Festival

京都の祇園祭、飛騨の高山祭とともに日本三大曳山祭に数えられる秩父夜祭は秩父の総社、秩父神社の例大祭で、三百有余年の歴史を誇ります。巧みな技を極めた極彩色の彫刻や、金糸をあしらった幕の刺繍などに彩られた、豪華絢爛な笠鉾・屋台が秩父屋台囃子の調べに乗り、冬の夜空を焦がす花火をバックに曳き廻される勇壮な祭りです。秩父神社の女神・妙見様と武甲山の男神・龍神様が年に一度、御旅所で出逢うというロマンスも伝えられています。

令和8年12月
2日(水)・3日(木)

Chichibu Yomatsuri is regarded as one of three most famous float festivals in Japan where six huge gorgeous floats parade through the city. At the climax on the night of December 3rd. the huge floats, which up to 20 tons each, are drawn up the steep Dango slope making a really surprising and spectacular scene.